

こんな火災にも注意 花火による火災

概要

夏の風物詩の花火。花火は楽しいものですが使い方を誤ると気軽に楽しめる花火も火災ややけどなどの事故につながりかねません。

火災ややけどなどの事故が起こらないように十分注意し、楽しみましょう。

ストップ、ドロップ&ロール

「ストップ、ドロップ&ロール（止まる、倒れる、転がる）」はアメリカで考案された着衣着火の際に身を守る方法です。

①ストップ（とまる）



①ストップ（止まる）

服に火がついたまま走ると、かえって火の勢いを大きくするので、絶対に走ってはいけません。
その場で一旦止まります。

②ドロップ（たおれる）



②ドロップ（倒れる）

地面へ倒れこみ、燃えているところを地面に押し付けます。

③ロール（ころがる）

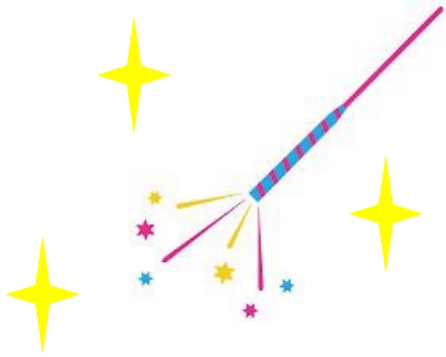


③ロール（転がる）

ゴロゴロ転がることで、服についた火が地面とあたって広い範囲を窒息消火します。

類似火災の防止対策

- 風が強いときは、花火をしない。
- 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- 地面に置くタイプは、安定した地面に置き、まっすぐにしっかり立て、点火後、素早く離れてください。
- 子供だけでなく、大人と一緒に遊ぶ。
- 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける。



独立行政法人製品評価
技術基盤機構（NITE）の
実験動画です。

詳しくは、画像をク
リックしてください。



火災を未然に防ぎましょう！

